

平成 27 年度第 1 回
伊万里地区新高校
設置準備委員会
(資料)

平成 27 年 5 月 27 日
佐賀県教育委員会

目次

| | | 頁 |
|------|---|----|
| 資料 1 | 新高校設置準備委員会設置要領 | 1 |
| 資料 2 | 伊万里地区新高校設置準備委員会委員構成 | 3 |
| 資料 3 | 新高校設置に向けた検討体制 | 4 |
| 資料 4 | 新たな生徒減少期に対応した佐賀県立高等学校再編整備実施計画 (第1次)(概要版) | 5 |
| 資料 5 | 県立高校再編整備計画(伊万里地区) | 8 |
| 資料 6 | 伊万里地区新高校設置準備委員会検討スケジュール | 9 |
| 資料 7 | めざす学校像 | 10 |

新高校設置準備委員会設置要領

平成14年10月21日
佐賀県教育委員会教育長決定
一部改正 平成17年4月 1日
一部改正 平成18年7月12日
一部改正 平成21年4月 1日
一部改正 平成27年4月 1日

(設 置)

- 第1条 佐賀県立高等学校再編整備実施計画に定める再編等によって設置される高校(以下「新高校」という。)の具体的な在り方等を検討するために、県立高等学校再編整備推進本部設置要綱第7条の規定に基づき、新高校設置準備委員会(以下「委員会」という。)を設置する。
- 2 委員会は、新高校ごとに別表のとおり設置する。

(所掌事項)

- 第2条 委員会は、次の各号に掲げる具体的な検討を行う。
- 一 新高校の教育内容及び管理運営等に関すること
 - 二 新高校の施設・設備に関すること
 - 三 新高校への円滑な移行に関すること
 - 四 前号に掲げるもののほか、検討を要すること

(組 織)

- 第3条 委員会の委員は、再編等整備の対象となる学校(以下「再編等対象校」という。)の校長、教職員、県教育委員会事務局関係者及び地域関係者のうちから教育長が委嘱する。
- 2 委員会には委員長及び副委員長を置き、再編等対象校関係委員の中から教育長が指名する。
 - 3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるときは、副委員長がその職務を代理する。
 - 4 委員長は、必要と認めるときは、委員会に作業部会を設置することができる。

(会 議)

- 第4条 委員会は、委員長が招集し、主宰する。
- 2 委員長は、必要と認めるときは、委員以外の者に委員会への出席を求め、その意見又は説明を聴くことができる。

(事務局)

- 第5条 委員会の事務局は、委員長が所属する学校及び県立高校再編整備推進室に置く。

(補 足)

- 第6条 この要領に定めるもののほか、委員会及び作業部会の運営に必要な事項は委員長が委員会に諮って定める。

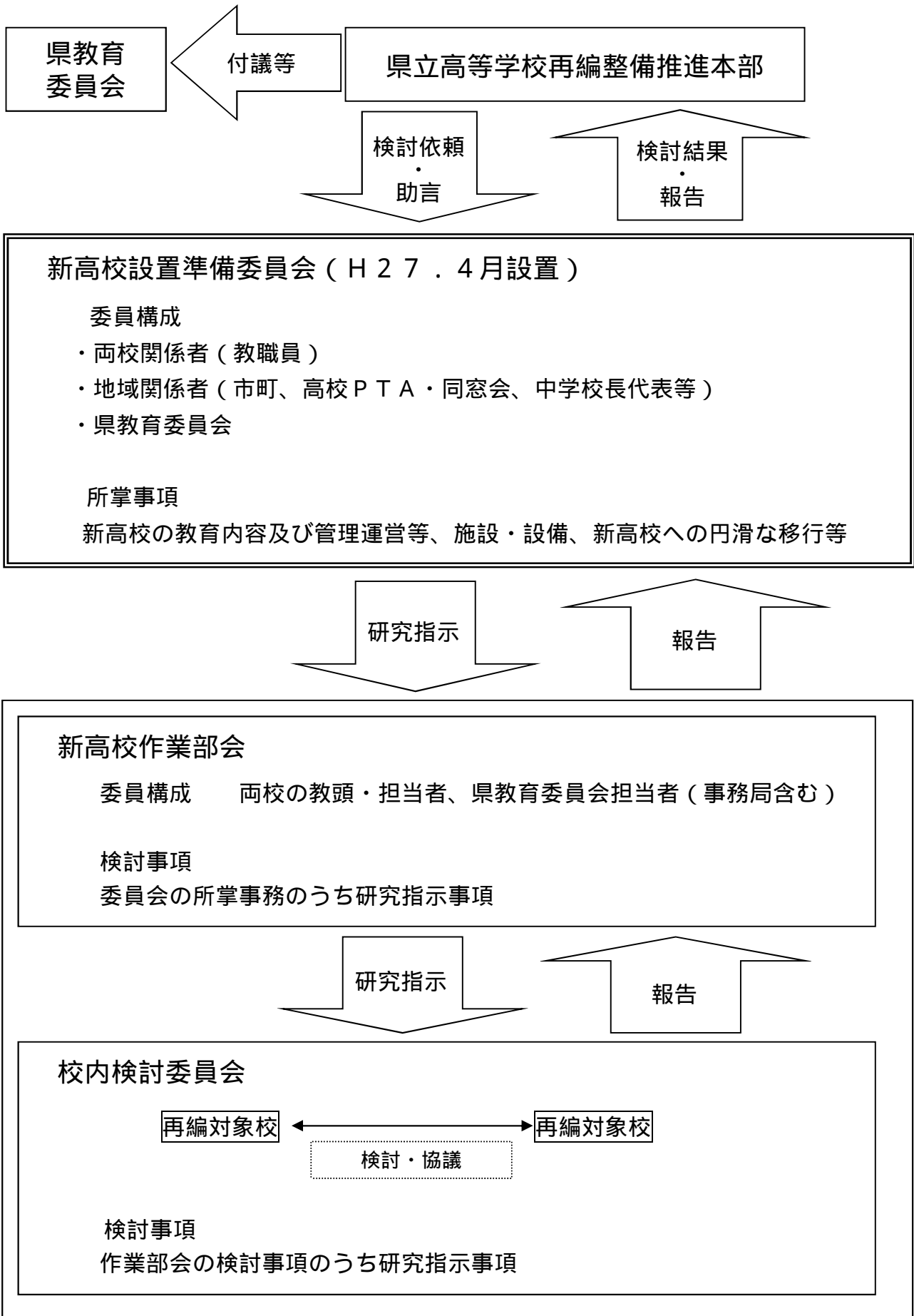
別表（第1条関係）

| 委員会名 | 再編等対象校 |
|---------------------|---------------------|
| 伊万里地区新高校 設置準備委員会 | 伊万里農林高等学校、伊万里商業高等学校 |
| 杵島地区新高校 設置準備委員会 | 白石高等学校、杵島商業高等学校 |
| 新巖木高校 設置準備委員会 | 巖木高等学校 |
| 鹿島地区新高校 設置準備委員会 | 鹿島高等学校、鹿島実業高等学校 |
| 嬉野地区新高校 設置準備委員会 | 塩田工業高等学校、嬉野高等学校 |

資料2 伊万里地区新高校設置準備委員会委員構成

| No. | 所属・職名 | 氏名 | 備考 |
|-----|----------------------|--------|------------|
| 1 | 伊万里農林高等学校 校長 | 酒見 良司 | 委員長・学校関係者 |
| 2 | 伊万里商業高等学校 校長 | 熊谷 正実 | 副委員長・学校関係者 |
| 3 | 伊万里農林高等学校 教頭 | 松本 英裕 | 学校関係者 |
| 4 | 伊万里商業高等学校 教頭 | 円城寺 祐子 | |
| 5 | 伊万里市教育長 | 森 哲也 | 伊万里市関係者 |
| 6 | 伊万里市政策経営部長 | 山本 洋一郎 | |
| 7 | 伊万里農林高等学校 同窓会代表 | 岩永 康則 | 地元関係者 |
| 8 | 伊万里商業高等学校 同窓会代表 | 森 日出生 | |
| 9 | 伊万里農林高等学校 P T A代表 | 金子 直幸 | |
| 10 | 伊万里商業高等学校 P T A代表 | 中島 智章 | |
| 11 | 伊万里市立東陵中学校長 | 坂本 浩幸 | 中学校関係者 |
| 12 | 副教育長（教育情報課長） | 福田 孝義 | 県教委関係者 |
| 13 | 教育政策課長 | 八谷 幸浩 | |
| 14 | 教職員課長 | 福地 昌平 | |
| 15 | 学校教育課長 | 松尾 敏実 | |
| 16 | 保健体育室長 | 三上 智一 | |
| 17 | 教育支援課長 | 源五郎丸 靖 | |
| 18 | 県立高校再編整備推進室 室長 | 甲斐 照章 | |
| 19 | 県立高校再編整備推進室 教育企画監 | 岩村 彰 | |
| 事務局 | 伊万里農林高等学校教諭 | 木村 紀元 | |
| | 伊万里商業高等学校教諭 | 田中 順 | |
| | 県立高校再編整備推進室 企画主幹 | 上赤 真澄 | |
| | 県立高校再編整備推進室 企画主査 | 杉本 耕一郎 | |

新高校設置に向けた検討体制



資料4 新たな生徒減少期に対応した佐賀県立高等学校再編整備実施計画（第1次）
（概要版）

新たな生徒減少期に対応した佐賀県立高等学校再編整備実施計画（第1次）（概要版）
（計画期間：平成33年度まで）

佐賀県立高等学校生徒減少期対策審議会答申（H24.8月）
「生徒減少期に対応した県立高等学校教育の充実・発展に資する対策について」

「新たな生徒減少期に対応した佐賀県立高等学校再編整備実施計画（新実施計画）」<たたき台>
（H25.11月）

「新たな生徒減少期に対応した佐賀県立高等学校再編整備実施計画（新実施計画）（第1次）」（案）
（H26.10月）

「新たな生徒減少期に対応した佐賀県立高等学校再編整備実施計画（新実施計画）（第1次）」
（H26.12月）

新実施計画策定に当たっての基本的な考え

背景

- ・ 新たな生徒減少期
- ・ 社会経済情勢の変化

目標

- ・ 生徒が進路希望を実現できる教育環境の整備
- ・ 高等学校教育の質的充実

方向性

- ・ 長期的・全県の視野に立った高等学校の再編整備の推進
- ・ 高等学校の学科等の整備

新実施計画策定の方針

新実施計画については、次の区分により、策定することとする。

| | |
|----------------|--|
| 新実施計画 （第1次） | 平成30年度に到来する新たな生徒減少期に向けて、早期に方針を決定し、準備に着手する必要がある県立高等学校の再編整備等 |
| 新実施計画 （第2次） | 平成30年度に到来する新たな生徒減少期に向けて、今後更に調査や検証、協議等が必要な県立高等学校の再編整備等 |

県立高等学校再編整備の基本方針

1 学校規模

1学年160人～320人（4学級～8学級）とする。ただし、1学年120人（3学級）の学校については、柔軟に対応する。

2 再編の対象

次のいずれかに該当する場合は、再編の対象校として検討する。

- ・ 1学年120人（3学級）以下の高等学校で、学校規模に由来する課題により、必要な教育活動を維持することが困難であると見込まれる場合
- ・ 1学年120人（3学級）の高等学校で、定員を維持することが困難となることが見込まれる場合

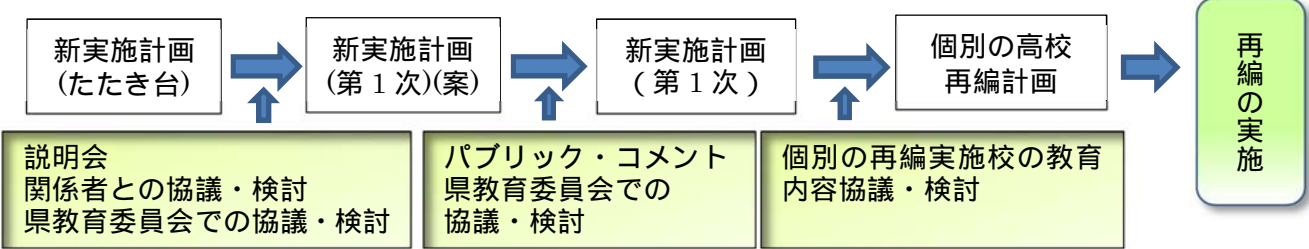
[1学年80人（2学級）の高等学校が存続する場合]

- ア 特色ある教育施策の実施等により、県全体の教育効果を高めることが特に期待される場合
- イ 地理的条件や交通事情により、生徒の教育に重大な支障を来すことが懸念される場合

再編整備の進め方

1 新実施計画（第1次）

新実施計画（第1次）については、個々の再編整備計画をもとに、再編対象ごとに設置準備委員会を設置し、再編実施後の高等学校における教育内容等について検討する。



2 新実施計画（第2次）

平成28年度を目途に策定する。

主な検討事項

- ・ 県全体の農業教育と佐賀農業高等学校の在り方に係る検討
- ・ 神埼地区の高等学校（神埼高等学校・神埼清明高等学校）の学校運営の在り方に係る検討
- ・ 県立高等学校の活性化（グローバル社会への対応、産業技術の高度化への対応（専攻科等の検討））
- ・ 通信制課程の移転及び昼間定時制の導入

具体的な再編整備計画

1 平成14年計画に掲げた再編整備計画

伊万里地区（平成31年度まで）

| | |
|----------|---|
| 再編対象校 | 伊万里農林高等学校、伊万里商業高等学校 |
| 新高等学校の場所 | 伊万里農林高等学校若しくは伊万里商業高等学校又は校舎制* （校地については、地域の意見も聞きながら、引き続き検討する。） |
| 募集定員 | 1学年200人（5学級規模） |
| 学 科 | 現在の学科を基本として、地域の意見も聞きながら検討する。 |

なお、伊万里地区については、生徒数の減により、平成33年度にさらに募集定員を40人（1学級相当）減じる必要があると見込んでいる。

武雄・杵島地区（平成30年度まで）

| | |
|----------|------------------------------|
| 再編対象校 | 白石高等学校、杵島商業高等学校 |
| 新高等学校の場所 | 当面、校舎制 |
| 募集定員 | 1学年200人（5学級規模） |
| 学 科 | 現在の学科を基本として、地域の意見も聞きながら検討する。 |

佐賀農業高等学校は、本県の農業科において中心的な役割を担う学校と位置付けることから、現在の学科を維持できるよう、当面、1学年120人（3学級規模）を維持し、単独校とする。

なお、武雄・杵島地区のうち杵島地区については、生徒数の減により、平成32年度にさらに募集定員を40人（1学級相当）減じる必要があると見込んでいる。

2 新たな再編整備計画

唐津地区（平成30年度まで）

| | |
|----------|---|
| 改編対象校 | 巖木高等学校 |
| 新高等学校の場所 | 現在の校地 |
| 募集定員 | 1学年80人（2学級規模） ・ 学区募集枠 40人 ・ 全県募集枠 40人 |
| 学 科 | 普通科 |
| 備 考 | 全県募集枠については、全日制高等学校で学ぶ意欲と能力のある、不登校経験や発達障害のある生徒及び高等学校中途退学者を対象とする。 |

鹿島・藤津地区（平成30年度まで）

| | |
|----------|------------------------------|
| 再編対象校 | 鹿島高等学校、鹿島実業高等学校 |
| 新高等学校の場所 | 当面、校舎制 |
| 募集定員 | 1学年280人（7学級規模） |
| 学 科 | 現在の学科を基本として、地域の意見も聞きながら検討する。 |

| | |
|----------|------------------------------|
| 再編対象校 | 塩田工業高等学校、嬉野高等学校 |
| 新高等学校の場所 | 当面、校舎制 |
| 募集定員 | 1学年200人（5学級規模） |
| 学 科 | 現在の学科を基本として、地域の意見も聞きながら検討する。 |

なお、鹿島・藤津地区については、生徒数の減により、平成31年度及び平成32年度に、さらに募集定員を各40人（1学級相当）減じる必要があると見込んでいる。

* 校舎制：再編前の高等学校の校舎をそれぞれ活用し、複数の校舎を持つ1つの高等学校として再編する。

県立高等学校の活性化

1 基本的な考え方

今後の県立高等学校の質的充実を図るための視点

- (1) グローバル社会への対応
- (2) 産業技術の高度化への対応
- (3) 教育機会の更なる拡大

2 学科等整備の基本方向

- (1) 職業教育の中心的な役割を担う高等学校

産業技術の高度化への対応として、職業教育の中心的な役割を担う高等学校を位置付ける。

| | |
|-----|---------------|
| 学 科 | 中心的な役割を担う高等学校 |
| 農業科 | 佐賀農業高等学校 |
| 工業科 | 佐賀工業高等学校 |
| 商業科 | 佐賀商業高等学校 |
| 家庭科 | 牛津高等学校 |

- (2) 生徒の実態に応じた教育機会の更なる拡大

不登校経験や発達障害のある生徒及び高等学校中途退学者に対する教育については、モデル校である太良高等学校の検証結果等も踏まえて、同様の取組を巖木高等学校へ展開する。

なお、グローバル化への対応や高度技能者の育成に係る専攻科等についての検討等については、引き続き検討を行い、新実施計画（第2次）で取り組むこととする。

県立高等学校の通学区域

全日制課程の普通科について設定している4学区（東部・中部・北部・西部）を、学校の配置状況、生徒の通学状況、地域間のバランスを総合的に勘案して、平成28年度から、当面、東部学区と中部学区を合わせた学区（新東部学区）と北部学区と西部学区を合わせた学区（新西部学区）の2学区とする。

なお、さらに通学区域を拡大し、全県一区とすることについては、2学区とした後の通学状況等を検証しながら、引き続き検討していくこととする。

各高等学校の志願動向と募集定員

各高等学校の募集定員については、基本的に各学区・地区内の中学校卒業見込者数の動向に応じて決定するが、生徒の志願動向を重視し、中学校卒業見込者数の減少による各学区・地区の募集定員の減がない場合でも、2年連続して一般選抜試験の学校別の志願倍率が1倍に満たなかった高等学校については、募集定員の減を検討する。

県立高校再編整備計画（伊万里地区）

伊万里地区の生徒減少に合わせ、平成 31 年度までに、県立高等学校の再編を実施する。

| | |
|----------|---|
| 再編対象校 | 伊万里農林高等学校、伊万里商業高等学校 |
| 新高等学校の場所 | 伊万里農林高等学校若しくは伊万里商業高等学校の校地又は校舎制 (校地については、地域の意見も聞きながら、引き続き検討する。) |
| 募集定員 | 1 学年 200 人 (5 学級規模) |
| 学 科 | 現在の学科を基本として、地域の意見も聞きながら検討する。 |

なお、伊万里地区については、生徒数の減により、平成 33 年度にさらに募集定員を 40 人 (1 学級相当) 減じる必要があると見込んでいる。

伊万里地区新高校設置準備委員会検討スケジュール(案)

| 回 | 時期 | 主な検討項目 |
|----------|--------------------------------|---|
| 第1回 | H27年 5月27日(水) | <ul style="list-style-type: none"> ・委員委嘱 ・新実施計画の概要 ・伊万里地区の再編計画について ・新高校設置に向けての検討事項及び検討スケジュール ・めざす学校像(現状を踏まえた意見交換) など |
| 第2回 | H27年 7月下旬 ~8月上旬 | <ul style="list-style-type: none"> ・めざす学校像 ・学科の構成(現状分析、今後の方向性についての意見交換) など |
| 第3回 | H27年 10月上旬 ~10月中旬 | <ul style="list-style-type: none"> ・学科の構成(新高校の学科構成及び定員) ・校地の検討 など |
| 第4回 | H27年 12月下旬 H28年 ~1月下旬 | <ul style="list-style-type: none"> ・校地の検討 ・新高校の特色づくりに係る意見交換 など |
| 第5回 | H28年 4月~5月 | <ul style="list-style-type: none"> ・特色ある教育 ・教育課程 など |
| 第6回 | H28年 7月~8月 | <ul style="list-style-type: none"> ・部活動 ・校務分掌 ・各種委員会 など |
| 第7回 ~ | H28年 10月~ | <ul style="list-style-type: none"> ・教育内容に係る検討(継続検討) ・新高校の校名、校章、校歌、制服等制定に係る検討 ・施設・設備に係る検討 など |
| 備考 | H30年2月 | ・2月議会(条例改正案) |
| | H30年3月 | ・新高校再編計画 |
| | H30年4月~ | ・広報活動、施設・設備の整備 |
| | H31年4月 | 開校 |

1 現在の状況

学校の概要 (「学校要覧」などによる)



伊万里農林高等学校

○綱領

- 第一条 至誠一貫、いやしくも表裏の行為あるべからず
 第二条 勇気を養い、忍耐を重んじ、もって勤労の習慣を養成すべし。
 第三条 自治自動の精神を発揮し、敢為進取の気象を養成すべし。
 第四条 儉素身を持ち、協同事に従い、常に規律を遵守すべし。
 第五条 衛生を重んじ、運動を励み、もって心身を鍛錬すべし。

○スローガン 飛躍する伊農林

○教育目標

知・徳・体の調和のとれた人格の形成の完成を目指すとともに、農業・林業教育を通して勤労観・職業観を育み、社会に貢献できる人材を育成する。

○学科・定員 生物生産科40名 食品化学科40名 森林工学科40名

○特色

- ・進路達成率7年連続100%(H25キャリア教育優良文部科学大臣表彰)
- ・7月と12月に校内販売会「旬の駅のうりん」を実施。学校ブランドの「いまりっち」「いまりんと」「しよっちゅうね」の販売PR実施
- ・部活動の活躍(カヌー部(県総体団体女子1位)、卓球部女子(県総体ベスト8、全九州新人戦ベスト4)、野球部(H27九州地区高等学校野球大会出場)、陸上部(14年連続北九州大会出場)など)
- ・農業クラブ活動(県連大会最優秀(H25家畜審査)、九連大会出場(H25プロジェクト発表、H25・26意見発表)、全国大会優秀賞(H25農業鑑定))
- ・わくわく親子「のうりん」教室や園児・児童との地域交流

○課題

- ・生徒の規範意識の更なる向上
- ・キャリア教育の充実



伊万里商業高等学校

○校訓 「挑・研・創」

- (1) 創立115年の輝かしい伝統の上に立って、人を愛し、礼節を守り、勤労と責任を重んじ、奉仕の心を自覚し自主独立の精神に充ちた心身ともに健康な人物を育成する。
- (2) 明るい学校生活の中で、生徒一人ひとりが知識と技能を磨き、有益な社会人としての資質を向上させる。

○教育目標

生徒一人一人の「生きる力・生き抜く力」を育み、経済社会の変化に十分に対応しうる、社会人・商業人としての資質(知識・技能)を身につけさせ、社会に貢献できる心身ともに健全な生徒の育成を目指す。

○学科・定員 商業科80名 情報処理科40名

○特色

- ・進路達成率100%
- ・ネットショッピングモール「いまり学美舎」の運営
- ・部活動の活躍(男子ホッケー部(全国高校総体出場(8年連続)、九州ブロック国民体育大会第3位)、女子ホッケー部(国民体育大会九州ブロック大会第2位)、情報処理部(全国高等学校情報処理競技大会 団体2位 個人3位))など

○課題

- ・部活動を整理し、更なる充実を図る。
- ・進路保障の充実に向けての体制強化

進路状況 (「卒業後の状況調査H27.3卒業生(速報値)」による。数値は人数。)



伊万里農林高等学校

四年制大学1(うち国公立0)
 短期大学10
 専修学校等19 ※就職は県内56%、県外44%
 就職83 その他1 卒業生数114

<主な進学先>

(私立)梅花女子大学
 (短期大学)西九州短大、九州龍谷短大、長崎短大
 (専修学校等)佐賀コンピュータ専門学校、中村調理製菓専門学校、佐賀調理製菓専門学校、伊万里看護学校、佐賀農業大学校

<主な就職先> 伊万里市農業協同組合、伊万里湾運輸、山元記念病院、伊万里有田共立病院、亀栄建材、川井産業、川原建設、黒木建設、九州内田鍛工、JAフーズさが、SUMCO、YSK九州工場、アンスコ、市丸建設、伊万里木材市場、かねは食品、㈱玄海テック、スミショー、名村造船所、ノリタケカンパニーリミテッド、フタバ九州、マツダオートザム伊万里、丸兄商社、モスフードサービス、友愛石油、佐川急便、ヤマト運輸、玉屋、モスバーガー、宗政酒造、宮島醤油、たらみ、フランソア、マツダ、トヨタ自動車、山崎製パン、リョーユーパン、若木ゴルフ倶楽部、長崎キャノン、ハウステンボス、エレナ、王子紙業、自衛隊



伊万里商業高等学校

四年制大学9(うち国公立2)
 短期大学15
 専修学校等33 ※就職は県内51%、県外49%
 就職59 卒業生数116

<主な進学先>

(国公立)長崎県立大学、兵庫県立大学
 (私立)西九州大学、九州共立大学、中村学園大学、熊本学園大学、梅花女子大学
 (短期大学)西九州短大、佐賀女子短大、長崎短大、香蘭女子短大、福岡女子短大、精華女子短大
 (専修学校等)佐賀コンピュータ専門学校、武雄看護リハビリテーション学校、緑生館、佐賀歯科衛生専門学校、麻生医療福祉専門学校、福岡看護専門学校

<主な就職先> 佐賀共栄銀行、佐賀西信用組合、伊万里信用金庫、山崎製パン、デンソー、日本特殊陶業、林テレンプ、マツダ、昭和金属工業、JR九州、トヨタ自動車九州、ハウステンボス、佐賀県畜産公社、伊万里鉄工所、やましげ、伊万里湾運輸、SUMCO、深川製磁、西松浦通運、西田病院、エヌ・ティー、扶桑エンジニアリング、マップ・パートナーズ、アンスコ九州、アイ・エス、アイ・ケアー、前田病院、山口病院、伊万里有田共立病院、西田病院、自衛隊

部 活 動 (H27.5.1現在。数値は部員数。)



伊万里農林高等学校

- <体育部> 野球(36)
バレーボール女子(10)
ソフトテニス(33)
バスケットボール(41)
卓球(24)
陸上競技(28)
カヌー(29)
剣道(11)
- <文化部> パソコン(14)
レオクラブ(14)
茶華道(3)
生活文化(18)
美術(5)
国際研(0)
太鼓(11)
- <農業クラブ>
野菜(38) 果樹(38) 草花(17)
作物(2) 畜産(25) 農産加工(28)
畜産加工(46) 食品化学(30) 応用
微生物(13) 林業(25) 木材加工(35)
土木(34) 測量(20) 国際研究(1)
- 
- 
- 



伊万里商業高等学校

- <体育部> 野球(31)
バレーボール女子(19)
ソフトテニス(34)
バスケットボール(40)
卓球(20)
陸上競技(32)
ソフトボール(17)
ホッケー(34)
柔道(3)
剣道(14)
- <文化部> 珠算・電卓(3)
簿記(1)
OA技術(2)
ボランティア(23)
ブラスバンド(26)
茶道(9)
家庭(24)
情報処理(25)
- 
- 
- 

主 な 行 事



伊万里農林高等学校

- 【 4月】入学式
1年生宿泊研修
開校記念行事
 - 【 5月】農業クラブ校内大会、危険物取扱者試験、
測量士補試験
 - 【 6月】県下一斉就職学力テスト
 - 【 7月】インターンシップ(2年)
農業クラブ県連大会(発表部門)(平板測量)
(農業鑑定)(家畜審査)
学校生産物販売(旬の駅「のうりん」)
日本農業技術検定
 - 【 8月】農業クラブ九連大会(発表部門)
ガス・アーク溶接技能講習、小型車両系建設
機械、フォークリフト運転技能講習
 - 【 9月】体育祭、就職試験開始
 - 【10月】農業クラブ全国大会
 - 【11月】農業文化祭、危険物取扱者試験
 - 【12月】学校生産物販売(旬の駅「のうりん」)
日本農業技術検定
 - 【 1月】修学旅行(北海道)
 - 【 2月】課題研究並びに就業体験発表会
先輩と語る会
 - 【 3月】卒業式
- ※情報処理関係・漢検・英検・数検などは随時実施



伊万里商業高等学校

- 【 4月】入学式
県下一斉学力診断テスト(1年)
1年生宿泊研修
開校記念行事
- 【 6月】日商簿記検定
県下一斉就職学力テスト(2・3年)
各種県予選競技会(情処、簿記、珠算電卓等)
全商珠算・電卓実務検定
全商簿記実務検定、全商ビジネス文書検定
- 【 7月】県高校生徒商業研究発表大会
- 【 8月】文化祭、体育祭
- 【 9月】全商英語検定
就職試験開始
県商業技術競技会、全商情報処理検定
- 【11月】全商珠算・電卓実務検定、日商簿記検定
全商ビジネス文書検定
- 【12月】県商簿記検定、全商英語検定
- 【 1月】全商情報処理検定、全商簿記実務検定
- 【 2月】全商商業経済検定
修学旅行(新潟)
課題研究発表会、日商簿記検定
- 【 3月】卒業式

2 新高校のめざす学校像

- ・ 教育目標について
- ・ 学校の特色づくりについて
- ・ 育成したい人材について
- ・ 地域との連携について
- ・ その他